

科目名	科学技術英語Ⅱ Scientific and Technical English II	科目コード	21341
-----	--	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	矢野 昌平（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1位
開講時期・時間数	前期, 30【内訳：講義 15, 演習 15, 実験 0, その他 0】
教科書	電気電子回路（森北出版株式会社）、自作プリント
補助教材	
参考書	電気電子理論Ⅰ・Ⅱ、電気回路で使用したテキスト、関連科目の教科書

【A. 科目の概要と関連性】

電気工学や電子工学の分野で仕事をする上において、他の工学分野同様に英語力は必要不可欠である。この授業では、これまでに学生実験において、作成したレポート課題を用いて、英語でのレポート作成を目指す。英文レポートの作成を通して英語表現に対する理解を深める。

○関連する科目：電気電子理論Ⅰ・Ⅱ（2、3年次履修）、電気回路Ⅰ（3年次履修）、電気回路ⅡA、B（前年度履修）、科学技術英語Ⅰ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①文法の基礎、英文読解力をつける	25%	(b3), (d4)
②文法の基礎、英文読解力をつける。	25%	(b2), (d4)
③科学技術のことがらを、的確な英文で相手に伝えることができる	35%	(b3), (d4)
④科学技術のことがらを、的確な英文で相手に伝えることができる	15%	(d4), (g1)

【C. 履修上の注意】

数学および英語の基礎が必要である。また、これまで学んできた電気回路・電子回路を再度勉強しておくこと、および学生実験で作成したレポートが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：中間 40, 期末 40】
- その他の試験（20%）
- レポート（0%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業概要、Operational Amplifiers	
2	Connections and symbols	
3	Amplifiers	
4	Non-inverting amplifiers	
5	AC Amplifier	
6	Summing amplifiers and Differential amplifiers	
7	中間試験	試験時間：50分
8	Differentials and Integrators	
9	Filters	
10	英語レポート作成、Introduction	
11	英語レポート作成、Method	
12	英語レポート作成、Result	
13	英語レポート作成、Conclusion	
14	学術論文概要	
—	期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	